

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公開番号】特開2011-90615(P2011-90615A)  
 【公開日】平成23年5月6日(2011.5.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-018  
 【出願番号】特願2009-245332(P2009-245332)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/041 3 3 0 P

G 0 6 F 3/041 3 8 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の区画領域を含む入力領域を有した入力部と、  
 複数の前記区画領域のそれぞれに対応して設けられた複数の振動部と、  
 押圧された入力位置を含む前記区画領域に対応する前記振動部を振動させる制御部と、  
 を備えた触覚伝達装置。

【請求項2】

複数の区画領域を含む入力領域を有した入力部と、  
 複数の前記区画領域のそれぞれに対応して設けられた複数の振動部と、  
 押圧された入力位置を含む前記区画領域に対応する前記振動部を、他の前記振動部より  
 も振動が大きくなるように振動させる制御部と、を備えた触覚伝達装置。

【請求項3】

押圧された入力位置を含む前記区画領域に対応する前記振動部を振動させる場合における  
 当該振動部を対象振動部とするとき、

前記制御部は、前記対象振動部と押圧された入力位置との間の平面視における距離が長くなるに従って、振動が大きくなるように、前記対象振動部を振動させる、請求項1に記載の触覚伝達装置。

【請求項4】

複数の前記区画領域のそれぞれを識別するための識別情報を記録する記録部と、  
 押圧された入力位置が複数の前記区画領域のうちどの区画領域に含まれているかを、前  
 記記録部に記録された識別情報に基づいて判定する区画判定部と、をさらに備えた、請求  
 項1～3のいずれか一項に記載の触覚伝達装置。

【請求項5】

入力部への押圧荷重を検出する荷重検出部をさらに備え、  
 前記振動部は、前記荷重検出部が検出した荷重が所定値以上である場合に振動する、請  
 求項1～4のいずれか一項に記載の触覚伝達装置。

【請求項6】

前記振動部および前記荷重検出部は、同じ圧電素子である、請求項5に記載の触覚伝達  
 装置。

**【請求項 7】**

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の触覚伝達装置と、  
前記触覚伝達装置と対向配置される表示パネルと、を備えた表示装置。

**【請求項 8】**

前記表示パネルは、液晶表示パネルである、請求項 7 に記載の表示装置。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0007

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0007】**

上記目的を達成するために本発明における触覚伝達装置は、複数の区画領域を含む入力領域を有した入力部と、複数の前記区画領域のそれぞれに対応して設けられた複数の振動部と、押圧された入力位置を含む前記区画領域に対応する前記振動部を振動させる制御部と、を備える。

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0008

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0008】**

上記目的を達成するために本発明における触覚伝達装置は、複数の区画領域を含む入力領域を有した入力部と、複数の前記区画領域のそれぞれに対応して設けられた複数の振動部と、押圧された入力位置を含む前記区画領域に対応する前記振動部を、他の前記振動部よりも振動が大きくなるように振動させる制御部と、を備える。